

新たな計画の構成イメージ

第1章 計画策定の意義

第1節 北海道開発の経緯

- ・開拓使設置以降、特別な開発政策の下、計画的に推進
- ・国全体の安定と発展に寄与

第2節 新たな北海道総合開発計画の意義

- ・北海道の資源・特性を活かして、その時々々の国の課題の解決に貢献する
- ・新たな時代の先駆者としてフロンティア精神を発揮し、先駆的・実験的な取組に挑戦する
- ・地域特性を踏まえた将来の豊かな社会をつくる

第2章 計画の目標

第1節 我が国をめぐる環境変化と国家的課題

我が国は、グローバル化の進展、生存基盤そのものを脅かす地球環境問題、かつて経験したことのない規模の人口減少と急速な少子高齢化という環境変化の中、大きな課題に直面

第2節 北海道の資源・特性

冷涼な気候、森林等の豊かな資源、アジアの中でも特徴的な北国らしい自然環境、北米及び東アジアとの結節点に位置する等の地理的特性、開発の歴史の中で培われてきた社会的開放性など

第3節 今後の北海道開発の戦略的目標

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1. アジアに輝く北の拠点
～開かれた競争力ある北海道の実現 | 2. 森と水の豊かな北の大地
～持続可能で美しい北海道の実現 | 3. 地域力ある北の広域分散型社会
～多様で個性ある地域から成る北海道の実現 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|

第3章 計画推進の基本方針

第1節 計画の期間

・21世紀前半期を展望しつつ、2008(平成20)年度からおおむね2017(平成29)年度まで

第2節 計画の主要施策

・戦略的目標を達成するための5つの主要施策を総合的に推進

第3節 計画の進め方

- | | | |
|--|--|---|
| 1. 多様な連携・協働
▶地域発展に向けた各種事業・施策等の連携・協働、多様な民間主体と行政とが一体となった取組の展開による相乗的効果の発現等 | 2. 新たな時代を見据えた投資の重点化
▶重点的・総合的・先行的に実施すべき施策による計画の効果的推進、総合的なコスト削減、社会資本ストックの老朽化等への対応 | 3. 新たな北海道イニシアティブの発揮
▶北海道固有の課題に対する独自の取組、他地域にも共通する課題に対する北海道の特性を活かした先駆的・実験的取組 |
|--|--|---|

第4章 計画の主要施策

第1節 グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

1. 食料供給力の強化と食にかかわる産業の高付加価値化・競争力強化
 - ▶食料供給力の強化
 - ▶食の安全の確保
 - ▶食にかかわる産業の高付加価値化・競争力強化
2. 国際競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けた観光の振興
 - ▶国際競争力の高い魅力ある観光地づくり
 - ▶リーディング産業としての観光産業振興
3. 東アジアと共に成長する産業群の形成
 - ▶地理的優位性を活かした産業立地の促進
 - ▶強みを活かした産業の育成
 - ▶産業育成に向けての条件整備

第2節 地球環境時代をリードし自然と共生する持続可能な地域社会の形成

- ▶自然共生社会の形成
- ▶循環型社会の形成
- ▶低炭素社会の形成

第3節 魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり

- ▶広域的な生活圏の形成と交流・連携強化
- ▶都市における機能の強化と魅力の向上
- ▶人口低密度地域における活力ある地域社会モデルへの取組
- ▶多様で個性的な北国の地域づくり

第4節 内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上

- ▶国内外に開かれた広域交通ネットワークの構築
- ▶地域交通・情報通信基盤の形成
- ▶冬期交通の信頼性向上

第5節 安全・安心な国土づくり

- ▶頻発する自然災害に備える防災対策の推進
- ▶ハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策の推進
- ▶道路交通事故等の無い社会を目指した交通安全対策の推進